



開所日時 月～金曜日 15:00～18:00
土曜日 10:00～13:00
15:00～18:00

児童デイ

最近の出来事から

窓ぎわのトットちゃん

新しいデイの実施場所を検討している際、候補にあがった物件で、「土地は広くても、建物が小さい」ことで悩んでおりました。結局その物件は断念したのですが、その際に冗談で、駐車場に廃バスを持ち込んで使ったら・・・なんて話をしていたのですが、本当にそういうことをしていた学校があったことをふと思い出しました。

かつて750万部のベストセラーとなった、黒柳徹子の自伝作「窓ぎわのトットちゃん」に登場するトモエ学園です。久しぶりにこの本を読み返してみたところ、トモエ学園の校長、小林宗作先生の子どもへのまなざしに深い感銘を受けました。ひとりひとりを大切に育てる姿勢を忘れない様、度々読み返すようにしたいと思います。

金華山登山の中止

前日の雨で、あいにく中止となってしまった金華山登山。当日は朝から快晴で絶好の登山日和となり、とても悔しい思いでした。

しかし、登山会が中止になっても何名かのご家族は連絡を取り合って、当日予定通り子どもと一緒に登頂してきたとのこと。

こんな感じで親の会のイベントを通して、自然に保護者間での交流が生まれてくると嬉しいです。(僕も行けば良かった・・・)



風邪に負けない!



インフルエンザも普通の風邪も、ウイルスを寄せ付けない心がけが大切です。特に「手洗い」「うがい」「マスク」の3つは重要です。

◆手洗い

風邪やインフルエンザは「飛沫感染」のほかにも、手についたウイルスによって、口や鼻、目などから侵入する「接触感染」も重要な感染経路です。これを防ぐには、手の清潔を保つことにつきます。外出のあと、トイレのあと、食事・調理の前など、石けんでの手洗いを習慣にしましょう。

◆うがい

うがいで、のどの粘膜を鍛えてウイルスの侵入の機会を少なくする効果が期待できます。のどの奥まで水を入れて、ガラガラと強く行うのがポイントです。

◆マスク

マスクはせきエチケットを守るために必要なアイテムですが、不織布製で目の詰まった鼻と口をしっかりと覆えるタイプのマスクは、ウイルスの粒子も通りにくいいため、感染予防に一定の効果が期待できます。マスクには、気道の粘膜の乾燥を防いだり、冷気が当たるのを防ぐ効果もあるので、せきやのどの痛みなどの症状を早く治す効果も期待できます。

お礼とお願い

児童デイサービスが赤見に移転するにあたり、冷蔵庫、洗濯機、掃除機等の品々をご寄付頂きまして有難うございます。

それでもまだ下記の品々を探しております。不要な物がありましたら、お知らせ下さい。こちらから伺います。

記

壁掛け時計、郵便ポスト、傘立て、インターホン、掲示板、裁断機、シュレッダー、テプラ、ラミネーター、扇風機、デジタル秤、食器乾燥機、まな板、包丁、防災カーテン、救急セット、防災グッズ等

以上宜しくお願いします。

ミニデイだよ!



秋

まごころ周りの公園や、歩道のイチョウの木の下には、たくさんのごんなんを見るようになり、すっかり秋らしくなってきました。食後の散歩では、毎回ビニール手袋と袋を持参し、「今日はいくつ拾えるだろう・・・」とちょっとした楽しみになっています。

10月は秋をテーマに運動会・お出かけ・書道・絵画・お菓子作りをしました。運動会では旗揚げゲーム(赤揚げて♪白揚げて♪)が予想以上にとても盛り上がり、みなさん俊敏に旗を動かしてみえました。

お出かけは、午前中に利用者さんと一緒に作った鬼まんじゅうを持って、昼食後、環境楽園へ行きました。「歩けるかしら。心配だわ～」とおっしゃった利用者さんもみえましたが、「外にみんなで出かけられてよかったわ。ありがとう。」と笑顔で帰ってくることができました。



9月から作成していた“巨大新聞ちぎり絵”がついに完成!!全員で協力し合っすばらしい作品になりました。



心づれづれ



顔見世

久し振りに従姉妹、妹達と御園座へ吉例「顔見世」名古屋開府四百年を記念して菊五郎主演の「旭輝黄金鯨」と「汐汲」観劇に出かけました。

「旭輝黄金鯨」は、江戸時代中期に実在し、大凧に乗って名古屋城天守閣の金鯨を狙ったという伝説の大盗賊、柿本金助を主人公にしています。

物語は、室町時代末期、足利十三代将軍の時代の尾張、美濃、伊勢を中心に展開し、尾張国の国主小田家のお家騒動を背景に、亡父の復讐と天下掌握を誓う金助の謀略、それに対立する盗賊、向坂甚内の運命的な出会いを描いています。

三階から舞台の天守閣へ大凧に乗った金助が黄金の鯨を盗む宙乗り、木曾川の水を使用した小田家家臣、鳴海春吉の「金鯨のつかみ」前から三列目までは、水しぶきがかかるということでビニールシートが配られました。金鯨と格闘すると水しぶきがかかります。首までビニールシートでおおいながら迫力満点な場面を見ることが出来ました。

「汐汲」は須磨に流された在原行平を恋慕う松風・村雨という姉妹の海女を題材とした能「松風」を由来とした松風物の舞踊です。藤十郎と翫雀親子共演の踊りです。

今回は、イヤホンを借りたので、衣掌の説明、色、衣掌についているふさ、背景等きめ細かくわかり満足しております。

フィナーレの時、舞台から手ぬぐいを観客に投げられました。その一本を私に向けて投げいただき第四十六回吉例「顔見世」と染められた手拭いを受けとめる事が出来ラッキーでした。身のこなし、目の動き、芸の深さを感じます。身心共にリフレッシュ出来、相手の気持ちに添ったサービスをしようと改めて思っております。

特定非営利活動法人 ネットワーク大府
理事長 矢澤 久子